

間接疑問の語順

疑問詞を含む文に **do you think** や **do you know** などが結びついた場合、語順に注意する必要がある。

(1) What do you think ...? の型

「…をどう思いますか」などの意味のこの型の疑問文は、**Yes, No** では答えられない。全体として特殊疑問文になるので、疑問詞が文頭にきて、**do you think** は挿入的になる。この型の主節の動詞は、**think** や **believe** など判断に関するものが多い。

“What do you think I have in my hand?” (手に何を持っていると思いますか。)

“I think you have some cherries.” (サクランボだと思います。)

“What amount do you think we could safely allow them at the initial stage of doing business?” (取引の初期段階においてどの程度の金額を与信しても大丈夫だとお考えになりますか。)

We think you could safely allow them maximum US\$100,000. (100,000 米ドルが限度だと思います。)

○ What do you think ...? 型をとる動詞

believe (信じる)

conclude (結論を下す)

consider (～と考える)

expect (期待する)

fear (恐れる)

guess (思う)

hope (望む)

imagine (想像する)

say (言う)

suggest (提案する)

suppose (思う)

suspect (疑う)

take (=consider) (～と考える)

think (思う)

tell (言う)

(2) Do you know what ...? の型

「…が何か知っていますか」などという意味のこの型の疑問文は、**Yes, No** で答えられる。全体としては **Do you know ...?** などの形の一般疑問文になり、この中に間接疑問が含まれることになる。

“Do you know what I have in my hand?” (手に何を持っているかわかりますか。)

“Yes, I do. You have some cherries.” (わかります。サクランボでしょう。)

Could you tell me where the bathroom is? (トイレはどこか教えていただけま

せんか。)

Do you remember what she said? (彼女が言ったことを覚えていますか。)

○ Do you know what ... ? 型をとる動詞

explain (説明する)

remember (覚えている)

know (わかる)

tell (教える)

(3) 2つの語順が可能な間接疑問 :

say, guess などの動詞の場合、どこに重点があるかによって、両様の語順になる。この場合も答えに Yes, No が必要かどうかで判断できる。

“Did he say where he had met Jiro?” (彼はどこで次郎に会ったか言いましたか。)

“Where did he say he had met Jiro?” (彼はどこで次郎に会ったと言いましたか)

“Can you guess how old my sister is?” (妹が何歳か言い当てられますか)

“How old do you guess my sister is?” (妹は何歳だと思いますか)